

第2回通常総会議案書

令和5年6月5日(月)

メルパルク名古屋



公益社団法人 昭和法人会

- ※ 「総会出欠アンケート(委任状)」を早期にご提出願います。
- ※ 総会に出席の方は、この議案書をご持参ください。

第 2 回 通 常 総 会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 議事録署名人選任
- 5 議 事
 - 第 1 号議案 令和 4 年度決算報告承認の件
 - 第 2 号議案 役員選任案承認の件
- 6 報告事項
 - (1) 令和 4 年度事業報告
 - (2) 令和 5 年度事業計画
 - (3) 令和 5 年度収支予算
- 7 表彰状・感謝状贈呈
- 8 来賓祝辞
- 9 閉会のことば

第1号議案 令和4年度決算報告承認の件

① 正味財産増減計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 基本財産運用益	245	238	
基本財産受取利息	245	238	
特定資産運用益	74	127	
特定資産受取利息	74	127	
受取会費	29,220,000	29,773,000	
正会員会費収入	28,959,000	29,506,000	
賛助会員会費収入	261,000	267,000	
事業収益	3,930,040	2,657,707	
研修事業収益	77,630	82,000	研修会テキスト代
広報事業収益	680,000	600,000	広報誌広告掲載料
福利厚生事業収益	1,270,931	974,086	健診委託手数料
会員親睦事業収益	1,611,224	582,420	会員交流参加費
簡易保険取扱事業収益	290,255	419,201	
受取補助金等	20,587,621	20,672,795	
受取全法連助成金	18,814,900	18,843,900	
受取全法連補助金	480,000	346,000	
受取県連補助金	1,292,721	1,482,895	
受取負担金	1,363,000	1,334,000	
受取部会負担金	1,363,000	1,334,000	部会年会費
雑収益	934,349	1,015,495	
受取利息	194	280	
雑収益	934,155	1,015,215	折込料等
経常収益計	56,035,329	55,453,362	前年対比581千円増
(2) 経常費用			
事業費	43,077,403	37,930,293	前年対比5,147千円増
役員報酬	4,626,000	4,434,000	常勤役員分
給料手当	10,702,378	8,430,073	事務局職員分
退職給付費用	0	0	
中退共済掛金	555,120	532,080	
福利厚生費	2,535,298	2,044,140	
会議費	3,595,681	1,771,391	
旅費交通費	2,162,389	1,234,533	
通信運搬費	2,441,714	2,245,821	催事案内等
消耗品費	1,110,119	2,099,430	
印刷製本費	5,065,703	4,608,791	広報誌発行費用
光熱水料費	385,782	291,628	
賃借料	2,313,000	2,217,000	
諸謝金	3,000,569	3,157,518	研修会、講演会等講師料
租税公課	0	887	
支払負担金	499,928	368,130	県連、税連協負担金
委託費	269,160	223,582	
会場費	2,164,759	2,452,897	研修会、講演会等会場費用
広告宣伝費	58,740	48,600	
表彰費	11,000	14,000	会員増強褒賞金
リース料	719,532	745,270	コピー・電話等リース料
支払手数料	516,817	516,751	簡保口振手数料
新聞図書費	32,768	32,530	
雑費	310,946	461,241	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
管理費	10,692,195	12,117,754	前年対比1,425千円減
役員報酬	1,374,000	1,566,000	常勤役員分
給料手当	3,178,786	2,977,332	事務局職員分
退職給付費用	0	0	
中退共済掛金	164,880	187,920	
福利厚生費	753,025	721,949	
会議費	1,781,695	1,706,468	
旅費交通費	177,009	140,657	
通信運搬費	597,236	1,051,157	
消耗品費	230,872	285,258	記念品等
印刷製本費	677,291	1,474,594	広報誌、封筒、コピー費用等
光熱水料費	114,583	102,997	
賃借料	687,000	783,000	
租税公課	0	313	
支払負担金	82,872	89,120	県連会費等
支払寄付金	33,000	3,000	
委託費	61,063	78,441	PCAソフト保守料等
広告宣伝費	1,260	11,400	
渉外慶弔費	94,114	67,313	慶弔費等
表彰費	10,000	50,000	
リース料	213,712	263,214	コピー、電話等リース料
支払手数料	388,247	455,690	司法書士手数料、銀行振込手数料等
新聞図書費	9,732	11,488	
雑費	61,818	90,443	
経常費用計	53,769,598	50,048,047	前年対比3,721千円増
評価損益等調整前当期経常増減額	2,265,731	5,405,315	
評価損益等計	0	0	
当期経常増減額	2,265,731	5,405,315	
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
他会計振替額	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	2,265,731	5,405,315	
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	2,194,731	5,334,315	
一般正味財産期首残高	53,423,239	48,088,924	
一般正味財産期末残高	55,617,970	53,423,239	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
受取全法連助成金	18,814,900	18,843,900	
一般正味財産への振替額	-18,814,900	-18,843,900	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	55,617,970	53,423,239	

② 正味財産増減計算書（内訳表）

（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

（単位：円）

内 訳		公 1	公 2	公 共	小 計	収 1	他 1	小 計	法人会計	計
経 常 収 益	基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	0	245	245
	特 定 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	0	74	74
	正 員 会 費 収 入	0	0	11,583,600	11,583,600	0	4,343,850	4,343,850	13,031,550	28,959,000
	研 修 事 業 収 入	38,630	39,000	104,400	104,400	0	39,150	39,150	117,450	261,000
	廣 告 事 業 収 益	0	0	0	0	0	0	0	0	77,630
	福 利 生 事 業 収 益	0	0	0	0	680,000	0	680,000	0	680,000
	會 員 厚 親 睦 事 業 収 益	0	0	0	0	1,270,931	0	1,270,931	0	1,270,931
	簡 易 保 險 取 扱 事 業 収 益	0	0	0	0	0	1,611,224	1,611,224	0	1,611,224
	受 取 全 法 連 助 成 功 金	0	0	0	0	290,255	0	290,255	0	290,255
	受 取 全 法 連 補 助 金	0	0	18,814,900	18,814,900	0	0	0	0	18,814,900
	受 取 全 法 連 補 助 金	0	0	0	0	0	200,000	200,000	280,000	480,000
	受 取 部 負 担 金	0	0	0	0	140,000	1,152,721	1,292,721	0	1,292,721
	受 取 部 負 担 金	0	0	0	0	0	1,363,000	1,363,000	0	1,363,000
受 取 部 負 担 金	0	0	0	0	0	0	0	194	194	
受 取 部 負 担 金	0	0	0	0	0	334,150	334,150	600,005	934,155	
計		38,630	39,000	30,502,900	30,580,530	2,381,186	9,044,095	11,425,281	14,029,518	56,035,329
事 業 費	役 員 報 酬	2,604,000	1,074,000	0	3,678,000	360,000	588,000	948,000	0	4,626,000
	給 料 手 当	6,024,427	2,484,728	0	8,509,155	832,869	1,360,354	2,193,223	0	10,702,378
	中 退 共 濟 掛 金	312,480	128,880	0	441,360	43,200	70,560	113,760	0	555,120
	福 利 厚 議 生 費	1,427,135	588,609	0	2,015,744	197,299	322,255	519,554	0	2,535,298
	會 費	263,936	91,528	0	355,464	13,091	3,227,126	3,240,217	0	3,595,681
	旅 費 交 通 費	801,400	180,961	0	982,361	46,378	1,133,650	1,180,028	0	2,162,389
	通 信 運 搬 費	1,328,210	776,754	0	2,104,964	94,457	242,293	336,750	0	2,441,714
	消 耗 品 費	828,689	47,365	0	876,054	15,213	218,852	234,065	0	1,110,119
	印 刷 製 本 料 費	3,409,462	709,391	0	4,118,853	458,450	488,400	946,850	0	5,065,703
	光 熱 水 借 料 費	217,161	89,565	0	306,726	30,021	49,035	79,056	0	385,782
	諸 租 稅 公 担 金	1,302,000	537,000	0	1,839,000	180,000	294,000	474,000	0	2,313,000
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	174,529	2,776,040	0	2,950,569	0	50,000	50,000	0	3,000,569
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	324,727	27,727	0	352,454	9,294	138,180	147,474	0	499,928
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	86,762	159,698	0	246,460	13,474	9,226	22,700	0	269,160
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	469,591	1,685,168	0	2,154,759	0	10,000	10,000	0	2,164,759
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	43,080	4,920	0	48,000	6,780	3,960	10,740	0	58,740
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	11,000	11,000	0	11,000
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	405,031	167,050	0	572,081	55,994	91,457	147,451	0	719,532
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	276,309	113,500	0	389,809	64,989	62,019	127,008	0	516,817
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	18,446	7,607	0	26,053	2,550	4,165	6,715	0	32,768
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	143,370	102,424	0	245,794	16,197	48,955	65,152	0	310,946
計	20,460,745	11,752,915	0	32,213,660	2,440,256	8,423,487	10,863,743	0	43,077,403	
管 理 費	役 員 報 酬	0	0	0	0	0	0	0	1,374,000	1,374,000
	給 料 手 当	0	0	0	0	0	0	0	3,178,786	3,178,786
	中 退 共 濟 掛 金	0	0	0	0	0	0	0	164,880	164,880
	福 利 厚 議 生 費	0	0	0	0	0	0	0	753,025	753,025
	會 費	0	0	0	0	0	0	0	1,781,695	1,781,695
	旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0	0	0	177,009	177,009
	通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0	597,236	597,236
	消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	0	230,872	230,872
	印 刷 製 本 料 費	0	0	0	0	0	0	0	677,291	677,291
	光 熱 水 借 料 費	0	0	0	0	0	0	0	114,583	114,583
	諸 租 稅 公 担 金	0	0	0	0	0	0	0	687,000	687,000
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	82,872	82,872
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	33,000	33,000
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	61,063	61,063
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	1,260	1,260
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	94,114	94,114
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	213,712	213,712
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	388,247	388,247
	支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	9,732	9,732
支 払 負 託 場 宣 伝 費	0	0	0	0	0	0	0	61,818	61,818	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	10,692,195	10,692,195
経 常 費 用 計	20,460,745	11,752,915	0	32,213,660	2,440,256	8,423,487	10,863,743	10,692,195	53,769,598	
当 期 経 常 増 減 額	-20,422,115	-11,713,915	30,502,900	-1,633,130	-59,070	620,608	561,538	3,337,323	2,265,731	
他 会 計 振 替 額									0	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税					71,000			71,000		71,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	-20,422,115	-11,713,915	30,502,900	-1,633,130	-130,070	620,608	490,538	3,337,323	2,194,731	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高										53,423,239
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高										55,617,970
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額										0
受 取 全 法 連 助 成 功 金			18,814,900	18,814,900						18,814,900
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額			-18,843,900	-18,843,900						-18,843,900
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高										0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高										0
正 味 財 産 期 末 残 高										55,617,970

③ 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	289,967	192,847	97,120
普通預金	33,778,217	32,679,603	1,098,614
振替貯金	462,981	182,398	280,583
定期預金	3,607,537	3,310,317	297,220
流動資産合計	38,138,702	36,365,165	1,773,537
2 固定資産			
(1) 基本財産	13,000,000	13,000,000	0
(2) 特定資産			
周年行事引当資産	3,000,000	2,500,000	500,000
退職給付引当資産	1,392,463	1,689,683	-297,220
特定資産合計	4,392,463	4,189,683	202,780
(3) その他の固定資産			
什器備品	2	2	0
電話加入権	299,838	299,838	0
敷金・保証金	1,850,000	1,850,000	0
その他の固定資産合計	2,149,840	2,149,840	0
固定資産合計	19,542,303	19,339,523	202,780
資産合計	57,681,005	55,704,688	1,976,317
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	589,572	520,766	68,806
前受金	10,000	0	10,000
未払法人税等	71,000	71,000	0
流動負債合計	670,572	591,766	78,806
2 固定負債			
退職給付引当金	1,392,463	1,689,683	-297,220
固定負債合計	1,392,463	1,689,683	-297,220
負債合計	2,063,035	2,281,449	-218,414
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2 一般正味財産	55,617,970	53,423,239	2,194,731
(うち基本財産への充当額)	(13,000,000)	(13,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)	(2,500,000)	(500,000)
正味財産合計	55,617,970	53,423,239	2,194,731
負債・正味財産合計	57,681,005	55,704,688	1,976,317

④ 財産目録

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	289,967		
普通預金	33,778,217		
三菱UFJ銀行滝子支店	10,370,412		
三菱UFJ銀行滝子支店	6,142,178		
名古屋銀行桜山支店	5,962,840		
愛知銀行桜山支店	376,902		
岡崎信用金庫滝子支店	382,182		
瀬戸信用金庫恵方支店	339,044		
ゆうちょ銀行	1,478,763		
愛知銀行桜山支店他(支部・部会)	8,725,896		
振替貯金	462,981		
定期預金	3,607,537		
三菱UFJ銀行滝子支店	1,000,000		
岡崎信用金庫滝子支店	1,607,537		
ゆうちょ銀行	1,000,000		
流動資産合計		38,138,702	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
三菱UFJ銀行滝子支店	5,000,000		
名古屋銀行桜山支店	5,000,000		
岡崎信用金庫滝子支店	1,000,000		
ゆうちょ銀行	2,000,000		
基本財産合計	13,000,000		
(2) 特定資産			
周年行事引当資産	3,000,000		
名古屋銀行桜山支店	2,000,000		
ゆうちょ銀行	1,000,000		
退職給付引当資産	1,392,463		
三菱UFJ銀行滝子支店	1,000,000		
岡崎信用金庫滝子支店	392,463		
特定資産合計	4,392,463		
(3) その他の固定資産			
什器備品	2		
電話加入権	299,838		
敷金・保証金	1,850,000		
その他の固定資産合計	2,149,840		
固定資産合計		19,542,303	
資産合計			57,681,005
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	10,000		
預り金	589,572		
源泉所得税	126,600		
地方税	182,400		
雇用保険	56,134		
健康保険	85,358		
厚生年金	139,080		
未払法人税等	71,000		
流動負債合計		670,572	
2 固定負債			
退職給付引当金	1,392,463		
固定負債合計		1,392,463	
負債合計			2,063,035
正味財産合計			55,617,970

⑤ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当期末の自己都合要支給額から中退共支払予定額を控除した金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の明細、増減及びその残高 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定 期 預 金	13,000,000	0	0	13,000,000
小 計	13,000,000	0	0	13,000,000
特 定 資 産				
周年行事引当資産	2,500,000	500,000	0	3,000,000
退職給付引当資産	1,689,683	0	297,220	1,392,463
小 計	4,189,683	500,000	297,220	4,392,463
合 計	17,189,683	500,000	297,220	17,392,463

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基 本 財 産				
定 期 預 金	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
小 計	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
特 定 資 産				
周年行事引当資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
退職給付引当資産	1,392,463	(0)	(0)	(1,392,463)
小 計	4,392,463	(0)	(3,000,000)	(1,392,463)
合 計	17,392,463	(0)	(16,000,000)	(1,392,463)

4 引当金の明細 (単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,689,683	0	297,220	0	1,392,463

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位：円)

資 産 の 種 類	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,539,025	1,539,023	2
合 計	1,539,025	1,539,023	2

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高 (単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	18,814,900	18,814,900	0	-
全法連補助金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	480,000	480,000	0	-
愛知県連補助金	一般社団法人愛知 県法人会連合会	0	1,292,721	1,292,721	0	-

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 (単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	18,814,900
合 計	18,814,900

8 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

基本財産及び特定資産の明細並びに引当金の明細については、上記の財務諸表に対する注記に記載をしているため、附属明細書への記載を省略する。

監査報告書

公益社団法人 昭和法人会

会 長 伊 藤 敏 宏 殿

令和5年4月14日

公益社団法人 昭和法人会

監 事 穂 川 泰 男 ⑩

監 事 細 野 浩 之 ⑩

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局等とその意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿、又は、これに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は、法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

第2号議案 役員選任案承認の件

理事候補者名簿

(敬称略)

氏 名	法 人 名	支 部
鈴木 宏	(株) 中 部 日 栄	汐 路
水谷 隆夫	水 金 工 事 (株)	汐 路
杉山 謙	日 本 ガ イ シ (株)	瑞穂ヶ丘
浅井 啓介	アサイコーポレーション(株)	瑞穂ヶ丘
六車 壽夫	(株) 興 和 工 業 所	瑞穂ヶ丘
泉 憲一	(株) 泉 製 作 所	瑞穂ヶ丘
黒宮 淳司	(株) 黒 宮 建 設	瑞穂ヶ丘
伊藤 敏宏	ブ ラ ザ ー 工 業 (株)	田 光
小島 直之	日 本 パ ッ キ ン グ (株)	田 光
米本 卓弘	(株) 山 金 ポ ン プ 製 作 所	田 光
伊勢村 昌吾	千 代 田 合 成 (株)	津 賀 田
原野 勝至	田 中 工 具 (株)	津 賀 田
横井 昭	横 井 定 (株)	津 賀 田
奥村 宜之	炉 材 商 事 (株)	津 賀 田
飯島 大輔	(株) 飯 島 産 業	津 賀 田
吉田 英晃	ワ イ ク リ ー ド (株)	萩 山
青山 敬明	フジパンググループ本社(株)	萩 山
石井 元博	東 海 イ ー シ ー (株)	萩 山
佐藤 正徳	オバナヤセメンテックス(株)	萩 山
青山 耕士	(株) 中 部 テ プ ロ	萩 山
山本 大志	(株) A T グ ル ー プ	円 上
花井 靖	(株) ハ ナ イ タ イ ト	円 上
乃一 剛英	(株) 乃 一	円 上
後藤 秀臣	日 本 パ ー ツ 機 器 (株)	円 上
山城 敬介	中 部 電 工 (株)	北 山
眞保 明也	(資) 眞 保 工 務 所	北 山
渡邊 滋	エ ア コ ン 工 業 (株)	北 山
大久保 友嗣	(株) 大 久 保 工 務 店	北 山
相羽 康人	ア イ チ オ ー ト 用 品 (株)	桜 山
川村 昌利	(株) 大 栄 商 会	桜 山
蜂谷 直樹	パ イ ロ ッ ト イ ン キ (株)	桜 山
森 敦子	富 士 パ ッ ク ス 販 売 (株)	桜 山
永田 洋一	名 古 屋 牛 乳 (株)	桜 山
山口 謙	建 設 ゴ ム (株)	桜 山
水野 雅彦	(株) 安 田 工 務 店	川名駒方
杉本 憲昭	(株) 杉 本 組	川名駒方
大和 幹大	セ ン ト ラ ル 交 通 (株)	川名駒方

氏 名	法 人 名	支 部
神 野 直 志	昭 和 土 木 (株)	御 幸 山
石 井 立 巳	京 楽 産 業 (株)	御 幸 山
今 村 源 一	(有) 初 穂 土 地	植 田
村 瀬 秀 美	天 白 信 用 農 業 (協)	天 白 中
村 口 龍 一	(有) ス ゲ タ 地 所	天 白 中
森 祥 一	山 勝 (株)	天 白 中
中 島 利 浩	(株) 三 明 工 作 所	南 天 白
江 場 大 二	(株) エ バ	南 天 白
稻 葉 純 子	(株) 富 士 化 成 工 業 所	南 天 白
西 尾 友 志	名 豊 特 殊 鋼 (株)	南 天 白
箕 浦 憲 二	(株) 箕 浦 不 動 産	平 針
相 羽 由 光	(株) 東 郷 製 作 所	東 郷
相 羽 克 俊	相 羽 ば ね 工 業 (株)	東 郷
寺 澤 秀 治	あいち尾東農業(協)東郷基幹支店	東 郷
近 藤 克 弘	東 和 工 業 (株)	東 郷
笠 原 照 基	曙 螺 子 工 業 (株)	東 郷
高 木 伸 治	荒 川 工 業 (株)	日 進
山 本 裕 子	(株) 山 本 工 務 店	日 進
前 嶋 誠 一	マ ス プ ロ 電 工 (株)	日 進
牧 秀 次	あ い ち 尾 東 農 業 (協)	日 進
川 本 幸 政	(有) 川 本 緑 化	長 久 手
近 藤 隆 典	コ ン ド ー セ イ コ ー (株)	長 久 手
水 野 文 男	あいち尾東農業(協)長久手事業本部	長 久 手
加 藤 伸 樹	日 東 工 業 (株)	長 久 手
中 村 猛 文	(公 社) 昭 和 法 人 会	-

監 事 候 補 者 名 簿

氏 名	法 人 名	
穂 川 泰 男	穂 川 工 業 (株)	北 山
細 野 浩 之	竹 田 印 刷 (株)	円 上

報告事項（1）令和4年度事業報告

事業報告（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

当会は、昭和25年4月1日に任意団体として創立されて以来、昭和55年6月の社団法人化、平成25年4月の一般社団法人への移行を経て、令和4年4月1日、法人会としては全国で387番目、愛知県下の法人会では15番目の公益社団法人として認可を受けました。

これまで70有余年の歩みの中で、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する」という法人会の理念に基づき、税知識の普及並びに納税意識の高揚を目的とした税制・税務研修事業をはじめ、特に近年においては公益性の高い事業推進を念頭に置き、地域社会に貢献する各種事業に多くの企業・市民の参加をいただき、事業展開を図ってまいりました。

本年度の事業活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りつつ、事業への参加者の健康と安全を最優先に、会員の皆様へのいち早的確な情報提供を心掛け、計画した事業活動に積極的に取り組んでまいりました。一部の事業においては、残念ながら新型コロナの影響を鑑み中止した事業もございましたが、おおむねコロナ禍前の活動状況に近い事業活動を実施することができました。

令和4年度の重点事業等の実施状況は次のとおりです。

1 税知識の普及を目的とする事業、納税意識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

税知識の普及・納税意識の高揚を目的とした税務研修会では、昭和税務署・国税局等から税務署長・副署長・法人課税第一統括官等多数の講師を招へいし、税務に関する知識の習得、コンプライアンスの向上等の幅広い分野をテーマに講演会や研修会をそれぞれ多くの出席者を得て開催しました。

具体的には、毎年実施している「税制改正説明会」、法人税法の基礎知識の習得を目的とした「やさしい法人税セミナー」、新入社員・新任実務担当者を対象とする「初任者税務研修会」、法人税申告時期に合わせ申告に関する注意点等を周知した「決算期別説明会」、新たに会社を起業した方を対象とした「新設法人説明会」のほか、「年末調整等研修会」「消費税インボイス研修会」にも取り組み、実施することができました。

また、租税教育の分野では、青年部会の中心的事業となった「租税教室」は8年目となりました。青年部会の役員を講師として本年も対応いたしました。学習指導要領の変更やコロナ禍の影響により実施希望校が減少したことにより、本年度は計5校8コマ273人を対象に実施しました。また、女性部会では、「第7回税に関する絵がきコンクール」に組み、応募総数は152作品とコロナの影響により減少しましたが、少しずつ学校側にも浸透しており、今後も租税教育事業として継続して実施することとしています。

その他、納税意識の高揚を図る目的で、昭和・天白区及び愛知ブロック2市1町の計5か所で毎年開催されている地域まつり等については、コロナ禍の影響により天白区民まつりが中止となったものの、それ以外の地域まつり等は規模を縮小するなどの対応をして開催されたことから、当会もこれら地域まつり等にブースを出展して参加しました。

このほか、毎年税務連絡協議会主催の大手スーパーで実施している街頭広報は実施できませんでしたが、夏休みに募集活動を行った税に関する作品の入賞者には、合同表彰式で表彰状を授与するとともに、式典後には税金クイズ大会を盛大に開催することができました。

さらに、所得税等の確定申告時期には、青年部会が中心となり申告期限や期限内納付の周知などを目的とする広報車による街頭広報を実施しました。

2 地域の健全な発展に資する経済や経営に関する講演会の開催並びに地域社会の健全な発展を図るための事業

地域企業の経営者等を対象とした講演会では、昨年度、コロナ禍の影響により中止となった講演会は多々ありましたが、本年度は、講師に弁護士の山口真由氏をお招きして総会記念講演会を実施したほか、名古屋市内ブロック連絡協議会として作家の長谷川幸洋氏をお招きして令和4年10月に経営講演会を開催し、名古屋市内9法人会合同講演会については、鈴木大地氏をお招きして開催することができました。また、愛知ブロック連絡協議会の講演会においては、三方よしの岩根順子氏の講演会を2年連続で中止しましたが、本年度ようやく開催することができました。

また、毎年恒例となり実施希望の多い女性部会主催の社会貢献事業「講演会&演奏会」及び支部合同の事業「狂言鑑賞会」は、感染防止策をしっかりと施す中で多くの方に参加いただき開催することができました。

さらに、青年部会においては、令和5年1月に3年振りとなる拡大推進教養講座を開催し、愛知県連の広報大使として活躍されている女優の佐藤奈織美氏を講師にお迎えして記念講演会を実施いたしました。

その他、名古屋国税局長の山西雅一郎氏や同調査部長の西村佳久氏を講師にお迎えし、大規模法人部会を対象とした講演会をそれぞれ開催することができました。

なお、「初級簿記講座」は、昨年と同様に継続開催することができました。

3 福利厚生事業の推進

経営者と従業員の保障・健康管理等を支援するため、法人会加入のスケールメリットを生かした割引制度など、団体扱いの各種保障制度、人間ドック、各種福利厚生制度の紹介などPRを行い、会員企業の福利厚生をサポートしてきました。

中でも、大同生命保険・AIG損害保険・アフラックを受託会社とする経営者大型総合保障制度の推進については、「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」を継続し、大幅な保険料収入増の確保に向け紹介活動を含め支援を行っています。その他経営者向けの中小企業共済や取引信用保険の紹介も行っています。保

険各社の担当者も、コロナ禍により訪問活動がままならず苦勞しながらの推進活動となりました。

また、会員向けサービスとして、「インターネットセミナー」の無料視聴サービスや「企業情報・格付情報照会サービス」の割引利用の紹介など、会員の皆様が直接加入メリットを享受できる活動も推進しています。

4 会員増強推進事業の実施

近年の厳しい経済環境等により廃業等による会員減少に歯止めがかからない状況が続いています。前年度から継続して、「本会・支部役員が一体となった紹介活動」を実施しているところです。入会勧奨対象は96社で、協力保険会社と情報を共有しており、協力保険会社により入会勧奨のための接触を図っています。

また、毎年10月～11月を会員増強月間と定め、会員等管理データを基に、「新設法人」「転入法人」「設立後5年経過法人」を対象として郵送による加入勧奨を実施しました。

以上が、令和4年度に実施した本会・支部・部会等の会議並びに事業等の活動状況ですが、事業ごとの詳細につきましては次ページ以降の附属明細書のとおりです。

事業報告の附属明細書 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

I 会議関係

行 事 名	開催年月日	内 容	出席者(名)
1 公益社団化 第1回通常総会	R4. 6. 6	令和3年度決算報告承認の件 役員補充選任案承認の件 報告事項：令和3年度事業報告 ：令和4年度事業計画並びに収支予算	213
2 正副会長会	R4. 4. 18	理事(監事)会への提出議案について 第1回通常総会役割分担及びスケジュール 役員の補充選任について 簡易保険払込団体扱い収支決算書について	8
	R4. 8. 8	理事(監事)会への提出議題について 昭和法人会の組織増強について 令和4年度組織増強月間の取組みについて 消費税インボイス制度導入にかかる当会の対応について 全法連第38回全国大会(千葉大会)への役員派遣について	8
	R4. 9. 20	令和4年度事業の進捗状況について 令和4年度組織増強月間の取組みについて 会費未納者に対する会費回収(個別訪問)について	8
	R4. 11. 14	役員総集会等進行内容の確認及び議事承認	8
	R5. 2. 13	第2回通常総会の開催について 令和4年度決算見込みについて 基本財産及び特定資産の見直しについて 令和5年度事業計画案について 令和5年度予算案について	8
3 常任理事会	R4. 9. 20	令和4年度事業の進捗状況について 令和4年度組織増強月間の取組みについて 会費未納者に対する会費回収(個別訪問)について 当面の事業実施計画 福利厚生事業等の推進について	34
4 理事会	R4. 4. 18	公益社団化第1回通常総会に提案する議題 令和3年度決算・事業報告 役員の退任基準に関する規程の制定 常勤役員規程の一部改正 委員会規程の一部改正 令和4年度委員会の体制	49
	R4. 8. 8	昭和税務署幹部職員の人事異動に伴う新体制について 令和4年度の事業計画の推進状況について 令和4年度組織増強月間の取組みについて 消費税インボイス制度導入にかかる当会の対応について	51
	R5. 2. 13	第2回通常総会の開催について	59

行事名	開催年月日	内 容	出席者(名)
5 役員総集会 (青年・女性部会含)	R4. 11. 14	令和4年度決算の見直しについて 令和5年度事業計画(案)について 令和5年度予算(案)について 基本財産及び特定資産の見直しについて 事務局員に対する傷害保険加入について 本年度の事業実施状況 会員増強の状況	57
6 委員会			
財務委員会	R4. 4. 12	令和3年度の決算について	5
広報委員会	R4. 6. 20	会報誌1月号(第204号)の結果について 会報誌9月号(第205号)の企画編集について	5
広報委員会	R4. 8. 5	「新署長インタビュー」 (昭和税務署署長室) 「副署長・法人一括括官インタビュー」	7
組織厚生委員会 兼 福利厚生推進協議会	R4. 9. 20	令和4年度事業の進捗状況について 令和4年度組織増強月間の取組みについて 会費未納者に対する会費回収(個別訪問)について 当面の事業実施計画 福利厚生事業等の推進について	34
	R5. 1. 16	令和4年度組織拡大紹介活動の今後の展開について 令和5年度の支部役員体制の確立 福利厚生制度の推進について	22
広報委員会	R4. 10. 17	会報誌第206号(新年号)の発行について 入会勧奨に伴う広報活動 ほか	5
総務委員会 兼 財務委員会	R5. 1. 23	第2回通常総会の開催日程について	11
事業委員会	R5. 1. 18	育児休業制度改正に伴う対応について 令和4年度決算見込みについて 基本財産及び特定財産の見直しについて 令和5年度予算編成方針及び予算案について 令和5年度事業計画について	7
税制委員会	R5. 3. 24	総会記念講演講師の選定について 令和6年度税制改正要望事項の取りまとめについて	5

II 税知識の普及を目的とする事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容 (講師・テーマ)	出席者(名)
1 税務・税法研修	R4. 6. 13	初任者のための税務 研修 (源泉所得税・ 社会保険)	源泉所得税の実務 昭和税務署 齋藤上席国税調査官 社会保険のしくみ 社会保険労務士 目方敏広 氏	47
	R4. 6. 24	税制改正の実務 ポイント研修会	税理士法人名南経営 税理士 安藤教嗣ほか [昭和・名古屋中・千種] (昭和ビル 会議室)	29

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)	
2 決算期別説明会	R4. 9. 7 ～6回開催～	やさしい法人税 セミナー	「法人税法の基礎知識」 税理士 小掠 めぐみ 氏 (昭とビル9階 会議室)	8	
	R4. 10. 21	大規模法人部会 税務研修会	「税務行政の現状と課題」 名古屋国税局 調査部 部長 西村 佳久 氏 「申告書作成のチェックポイント」 名古屋国税局 調査審理課長 小山 太郎 氏 (熱田神宮会館)	91	
	R4. 10. 28	瑞穂・昭和区ブロック 税務研修会	「なるほど納得 インボイス制度」 昭和税務署 法人課税第一部門 統括国税調査官 梅山 竜樹 氏 (熱田神宮会館)	72	
	R4. 11. 24	税務研修会	令和4年度「年末調整の実務のポイント&消費税(インボイス)」 昭和税務署 担当官 3名 (名古屋市公会堂)	72	
	R4. 5. 23	決算期別説明会	決算申告実務上のポイント 昭和税務署 真川国税調査官	21	
	R4. 8. 24	決算期別説明会	〃 昭和税務署 原田審理専門官	15	
	R4. 11. 28	決算期別説明会	〃 昭和税務署 真川国税調査官	11	
	R5. 2. 20	決算期別説明会	〃 昭和税務署 真川国税調査官	20	
	3 新設法人説明会	R4. 6. 8	新設法人説明会	「新設法人のための税金ガイドブック」 昭和税務署との共催事業	47
		5 講演会等	R4. 9. 22	女性部会 意見交換会	「税務署長を囲む意見交換会」 昭和税務署 署長 松井 保之 氏 (メルパルク名古屋)
R4. 10. 21	大規模法人部会 講演会		「税務行政の現状と課題」 名古屋国税局 調査部 部長 西村 佳久 氏 (熱田神宮会館)	91	
R4. 11. 14	役員総集会 (青年・女性部会 部会員含む)		「身近な税の話題」～スポーツの秋にちなんで～ 昭和税務署 署長 松井 保之 氏 (メルパルク名古屋)	57	
R4. 12. 12	青年部会意見交換会		「税務署長・副署長との意見交換会」 昭和税務署 署長 松井 保之 氏 副署長 木下 真紀子 氏	22	

III 納税意識の高揚を目的とする事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 地域・イベントにおける租税教育活動	R4. 7 ～ 9	税に関する絵はがき コンクール	小学生を対象とした「第7回税に関する絵はがきコンクール」の実施（応募作品点数 152編）	
	R4. 10. 23	昭和区民まつり 天白区民まつり	税に関するパネルの展示及びパンフレットの配布（鶴舞公園） (中止)	15
	R4. 6. 20	管内小学校62校	昭和税務署管内の小学6年生を対象に税に関する マンガ本を配付 (管内小学校62校)	5,814

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
2 税の啓発活動	R4. 11. 18 ～11. 20	東郷町地域産業まつり (長久手市)	東郷町文化産業まつりに参加 愛知市町村フェア参加	
	R4. 11. 20	にしん市民まつり (日進市)	にしん市民まつりに参加	
	R4. 5. 11	租税教室	名古屋市立御劔小学校6年生児童36名に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	2
	R4. 5. 16	租税教室	名古屋市立高田小学校6年生児童43名に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	3
	R4. 6. 14	租税教室	名古屋市立平針小学校6年生児童106名に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	4
	R5. 1. 20	租税教室	名古屋市立植田小学校6年生児童76名に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	2
	R5. 1. 27	租税教室	名古屋市立高坂小学校6年生児童12名に対する租税教室を青年部会員が講師となって実施	2
	R4. 11. 14 R5. 2. 21 ～ 2. 22	税を考える週間 所得税 確定申告期	作品合同表彰式 クイズの実施 (イオン八事) 確申会場の周知、申告書の早期提出、期限内納税について、広報車による広報の実施	8

IV 地域企業の健全な発展に資する事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 経済・経営講演会	R4. 6. 6	通常総会記念講演会	「世界の潮流、日本の現在地」 信州大学特任教授・法学博士 山口 真由 氏	213
	R4. 10. 28	市内ブロック合同講演会	「激動する世界～日本の針路を考える～」 ジャーナリスト 長谷川 幸洋 氏 (熱田神宮会館)	72
	R5. 2. 9	市内9法人会合同講演会	「スポーツから学んだ人生のたからもの」 順天堂大学大学院教授 鈴木 大地 氏 (日本特殊陶業市民会館)	35
2 地域企業向け 実務研修会	R4. 6. 13 ～ 7. 22	初級簿記教室 (9回開催)	「初級簿記講習会」 税理士 仙田 浩人 氏 (中小企業振興会館 会議室)	延117

V 地域社会への貢献を目的とする事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 講演会	R4. 10. 24	講演会 (女性部会主催)	「元気に過ごすためのエッセンス」 後藤 孝子 氏 (メルパルク名古屋)	165
	R4. 10. 28	市内ブロック合同講演会 (瑞穂、昭和、天白)	「激動する世界～日本の針路を考える～」 ジャーナリスト 長谷川 幸洋 氏 (熱田神宮会館)	72

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
2 鑑賞会	R5. 2. 21	愛知ブロック講演会	『近江商人に学ぶ・・・危機に克つ「三方よし」』 特定非営利活動法人 三方よし研究所 専務理事 岩根 順子 氏 （東郷町商工会）	25
	R4. 8. 27	8支部合同狂言鑑賞会 (汐路、田光、津賀田、円上、北山、萩山、瑞穂ヶ丘川名駒方支部)	「野村又三郎一門 狂言鑑賞会」 演目:『狂言 伊文字』『狂言 茶壺』 (名古屋能楽堂)	275
	R4. 10. 24	演奏会 (女性部会主催)	「新進気鋭テノール&バリトン名歌を謳う」 ピアニスト 甚目裕夫他 (メルパルク名古屋)	165

VII 青年部会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 役員会	R4 年 度	役員会	令和4年4月～令和5年3月の間・12回開催 部会並びに県連事業について実施内容を協議	240
2 事業関係	R4. 4. 18	通常総会	公益社団化第1回通常総会 (メルパルク名古屋)	46
	R4. 6. 4	親睦ゴルフ	親睦ゴルフ大会 (東名古屋カントリークラブ)	22
	R4. 5. 11	租税教室	名古屋市立御劔小学校6年生児童36名に対する租税	2
	R4. 5. 16	租税教室	名古屋市立高田小学校6年生児童43名に対する租税	3
	R4. 6. 14	租税教室	名古屋市立平針小学校6年生児童106名に対する租税	4
	R4. 9. 28	税務研修会	「租税教室についての意見交換会」 昭和税務署 副署長 木下 真紀子 氏 「インボイス制度について(実務編)」 昭和税務署 法人課税第一部門統括官 梅山竜樹 氏 (名古屋市公会堂)	34
	R4. 11. 12	署長講演会	「身近な税の話題」 ～スポーツの秋にちなんで～ 昭和税務署 署長 松井 保之 氏 (メルパルク名古屋)	7
	R4. 11. 24 ～ 11.25	沖縄大会 兼 一泊税務研修会	第36回全国青年の集い「沖縄大会」	19
	R4. 12. 12	税務研修会	「税務署長・副署長との意見交換会」 昭和税務署 署長 松井 保之 氏 副署長 木下 真紀子 氏 (THE CONDER HOUSE)	22
	R5. 1. 20	租税教室	名古屋市立植田小学校6年生児童76名に対する租税	2
3 関係団体	R5. 1. 25	拡大推進教養講座	「ホントにわかっている? 「税」のこと～法人会・青年部会の魅力～」 女優 佐藤奈織美 氏 (ラグナスイート名古屋)	34
	R5. 1. 27	租税教室	名古屋市立高坂小学校6年生児童12名に対する租税	2
	R4.11.24～25	全法連行事	全国青年の集い 沖縄大会 (沖縄市沖縄アリーナ)	5
	R4. 4. 25	愛知県連	青年部会連絡協議会 定時総会	5
	R4. 5. 30	同上	青年部会連絡協議会 常任理事・部会長会議	4

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
	R4. 10. 11	同上	青年部会連絡協議会 情報交換会	3
	R5. 3. 28	同上	青年部会連絡協議会 常任理事会	1
	R5. 2. 21 ～ 2. 22	昭和税連協行事	「広報車による確定申告広報活動」	8

VIII 女性部会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 役員会	R4 年 度	幹事会	04年4月～05年3月の間・12回開催 部会並びに県連事業について実施内容を協議	72
	R4. 4. 22	通常総会	公益社団化第1回通常総会 (メルパルク名古屋)	20
2 事業関係	R4. 6. 21	税務研修会& 文化講演会	「無題」 昭和税務署 筆頭副署長 石川たき子 氏 「マリンバ演奏会」 桑原幸江他 (サンモリッツ)	11
	R4. 7 ～ 9	租税教育活動	「第6回絵はがきコンクール」募集活動	
	R4 9. 22	意見交換会及び 税務研修会	「新署長を囲む意見交換会」 昭和税務署長 松井 保之 氏 「沖縄体験あれこれ」 昭和税務署 法人課税第一部門統括官 梅山竜樹 氏	13
	R4. 10. 24	租税教育 講演会と演奏会 (女性部社会貢献事業)	「絵はがきコンクール」審査会 (メルパルク名古屋) 講演会 「元気にすごすためのエッセンス」～心と体をいたわる～ 看護師 後藤 孝子 氏 プレミアムコンサート「新進気鋭テノール&バリトン名歌を謳う」 甚目裕夫氏ほか (メルパルク名古屋)	165
	R4. 11. 14	署長講演会	「身近な税の話題」 ～スポーツの秋にちなんで～ 昭和税務署 署長 松井 保之 氏 (メルパルク名古屋)	12
3 関係団体	R5. 1. 20	女性部会 税務研修会	「国税広報はお金がない」 昭和税務署 副署長 木下 真紀子 氏 (ガス燈)	17
	R4. 4. 14	全法連行事	全国女性フォーラム静岡大会	2
	R4. 4. 27	愛知県連	女性部会連絡協議会 定時総会	3
	R4. 9. 2	同上	女性部会連絡協議会 常任理事会	1
	R4. 10. 27	同上	女性部会連絡協議会 情報交換会	4
	R5. 3. 23	同上	女性部会連絡協議会 常任理事会	1

IX 大規模法人部会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 事業関係	R4. 10. 21	講演会並びに 税務研修会	「税務行政の現状と課題」 名古屋国税局 調査部 部長 西村 佳久 氏 「申告書作成のチェックポイント」 名古屋国税局 調査審理課長 小山 太郎 氏 (熱田神宮会館)	91

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
	R5. 2. 22	大規模法人 経営者講演会	名古屋国税局長講演会「我が国の財政と税務行政の展望」 名古屋国税局長 山西 雅一郎 氏 (名古屋マリオットアソシアホテル)	21

X 広報誌・連合会事業

事業区分	開催年月日	行事名	内 容（講師・テーマ）	出席者(名)
1 広報関係	R4. 9. 10	広報誌発行	会報誌 昭和法人会 第205号（発行:2,997部）	
	R5. 1. 20	広報誌発行	会報誌 昭和法人会 第206号（発行:2,988部）	
2 愛知県連	R4. 6. 9	通常総会	第10回愛知県法人会連合会通常総会（名古屋観光ホテル）	6
	R4. 11. 30	運営研究会	愛知県法人会運営研究会（名古屋東急ホテル）	5
	R4. 12. 15	研修会	愛知県下法人会事務局役職員研修会（大同生命ビル）	1
3 東海法連	R4. 9. 15	東海法連定時総会	第33回東海法人会連合会定時総会（名鉄グランドホテル）	2
	R5. 3. 2	東海法連大会	第77回東海法人会連合会大会（ホテルグランヒルズ静岡）	4
4 全法連	R4. 8. 29	新任事務局長セミナー	法人会組織について	1
	R4. 10. 13	全国大会	第38回法人会 全国大会 千葉大会	3
	R5. 3. 3	全国事務局セミナー	法人会における消費税インボイス制度	1
5 税連協関係	R4. 5. 9	定時総会	令和3年度事業報告・収支決算報告及び令和4年度事業計画案 ・予算案等の審議	5
	R4. 7. 22	定例会	行事日程、税を考える週間行事計画について	4
	R4. 10. 5	定例会	「税を考える週間」行事について協議 税に関する作品の表彰について	4
	R4. 11. 13	合同表彰式	「絵はがき」 税金クイズ等	5
	R5. 1. 12	定例会	各会の行事予定 「税を考える週間」行事結果について 「確定申告期の広報活動」について	4
	R5. 2. 21	確定申告期	早期提出・e-TAX推進街広報	8
	～ 2. 22	街広報活動	広報車による確定申告広報活動	

報告事項（２）令和５年度事業計画

事業計画書（自 令和５年４月１日 至 令和６年３月３１日）

Ⅰ 活動の基本方針

昭和法人会は、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与するとともに国と社会の繁栄に貢献する」という法人会の理念に則り、よき経営者を目指すものの団体として、また、健全な納税者の団体としての公益性を認識し、税知識の普及と納税意識の高揚を目的とした税制・税務研修事業をはじめ、企業経営と社会の健全な発展に寄与するため、社会の変化に対応する各種事業活動を推進し、会員のニーズにあった事業の実施に努める。

１ 税知識の普及を目的とする事業

国税及び地方税に係る官公署等との連絡協調のもと、健全な納税者団体として税に関する研修会や講演会などを通じて「税知識の普及」に努めることで、税務行政の円滑な執行に寄与し、もって国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業を行う。

具体的には、各研修会等では税知識の普及のため税に関するパンフレットや書籍を適宜配布し、また、当会の広報誌では、税知識の普及を目的とする事業に付随して、税に関する情報を適宜掲載し、情報発信を行う。

２ 納税意識の高揚を目的とする事業

当会は、健全な納税者団体として税金の仕組みや税の使われ方を教育する租税教育活動を通じて納税意識の高揚に努めることで、税務行政の円滑な執行に寄与し、もって国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業を行う。

当会の広報誌では、納税意識の高揚を目的とする事業に付随して、各事業の活動報告などを適宜掲載し、情報発信を行う。また、公益財団法人全国法人会総連合が主催し、傘下の各都道府県法人会連合会が持ち回りで主管として開催する「全国青年の集い」や「全国女性フォーラム」など関連団体が主催する発表会等に参加し、全国の租税教育活動などについて、創意工夫に富んだ発表事例を研究し、当会の租税教育活動の企画・運営に活かす。

３ 税制改正に関する提言

公益財団法人全国法人会総連合においては、毎年、全国の法人企業及び個人の活力を生むような税制をはじめ、租税負担の合理化・簡素化及び適正公平な課税などの提言を行うため、全国の各法人会から税制及び税務に関する提言を取りまとめて提言書を決議し、法人会全国大会で発表後、関係機関等に対し提言活動を行う。

税制及び税務に関する提言は、全ての法人企業及び個人に関連した内容となっており、税務行政の円滑な執行に寄与し、もって国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業を行う。

4 地域企業の健全な発展に資する事業

当会が存する昭和税務署管内を中心とした地域経済の活性化を図るためには、その地域に存する地域企業の健全な発展が必要不可欠といえる。そのため、当会が事業活動を行うことによって地域企業の健全な発展を促し、納税や雇用機会を確保することで、地域社会の不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的とする。

5 地域社会への貢献を目的とする事業

当会が存する昭和税務署管内を中心とした地域企業や地域住民を対象として、健康、文化・芸術等に関する講演会及び研修会並びに鑑賞会等の企画・開催を行うことにより、これらの機会の提供を通じて、地域社会の健全な発展を目的とする事業を行う。

また、地域企業の健全な発展に資する事業に付随して、公益財団法人全国法人会総連合が主催する「全国青年の集い」や「全国女性フォーラム」などの関連団体の発表会・研修会等に参加し、全国の地域社会貢献活動などについて創意工夫に富んだ発表事例を研究し、当会の地域社会貢献活動の企画・運営に活かす。

6 会員の福利厚生等に資する事業

会員の福利厚生等に資する事業として、法人会への加入メリット・スケールメリットを会員が享受できるサービス・情報の提供を行う。

中でも、経営者大型保障制度やガン保険を中心とする保険事業の推進については、財政基盤の確立を図る上からも取扱会社との連携を強化し、取扱い企業の加入率の向上と目標達成に努める。

さらに、健康増進事業として、会員企業の役員及び従業員等の健康増進・保守を目的として、人間ドック・健康診断等の斡旋を行う。

また、広告事業として、当会が発行する広報誌に、会員企業の紹介及び福利厚生制度の案内や周知を目的として、会員企業・保険会社からの広告掲載を行う。

7 会員の交流に資するための事業

会員支援のための親睦交流を目的に、会員間の情報交換や会員相互の親睦を行うほか、会員を対象とした観劇等の催し物や法人企業の業務に関係のない趣味・娯楽・スポーツ・レクリエーション等の事業を行う。

II 主要行事計画

1 税知識の普及を目的とする事業

(1) 初任者に対する税務研修会

昭和税務署管内の法人企業で、源泉所得税や社会保険の取扱い等に不慣れな新規採用者及び新規に経理担当等に従事した初任者を対象とした税務研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の新規採用者及び経理担当の初任者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署の担当官及び社会保険労務士など

開催予定時期：令和5年6月

(2) 税制改正に関する税務研修会

昭和税務署管内の法人企業で、役員や経理担当者等を対象とした毎年改正される税制改正等を解説する税務研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：税理士ほか

主催：当会及び名古屋市内の他の法人会との共同開催

開催予定時期：令和5年6月

(3) 決算期別説明会

昭和税務署管内の法人企業で、各法人企業の決算期に合わせ、申告実務における留意事項等を解説する税務研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業で、決算期ごとにグループに分け、経理担当者等申告実務に携わる担当者を対象とし、参加者は会員に限定しない。

実施時期：決算期別の参加状況を考慮し、1年に数回開催する。

講師：昭和税務署の担当官ほか

開催時期：令和5年5月以降、3か月ごとに開催

(4) やさしい法人税セミナー

昭和税務署管内の法人企業で、法人税の基礎知識の習得を目的に担当者の育成を図るための税務研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業で、法人税申告に携わっている者又はこれから携わる者等、企業内で法人税の知識の習得を必要とする者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：法人税法に精通した税理士等に依頼

主催：当会及び名古屋市内の他の法人会との共同開催

開催予定時期：令和5年9月～10月

(5) 新設法人説明会

昭和税務署管内で新たに法人を設立した企業に対し、法人税や消費税等税法の取扱いや、企業としての申告や届出の義務等を解説する税務研修会を開催する。

対象者：おおむね前1年間程度の間、昭和税務署管内で法人を設立した企業を対象。

参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署の担当官ほか

主催：当会と昭和税務署との共同開催

開催予定時期：令和5年6月

(6) 大規模法人税務研修会・講演会

大規模法人（資本金等1億円以上）を対象に、大規模法人であるがゆえに税務申告等において留意すべき事項等をテーマとして取り上げた税務研修会・講演会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の資本金・出資金の額が1億円以上の法人企業を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：名古屋国税局調査部の担当官ほか

主催：当会と愛知県下の他の法人会と共同開催

開催予定時期：令和5年10月

(7) 税務署長及び税務署の担当官による講演会・研修会

税務署長や税務署の担当官の講演や講義を受けることにより、税務行政の運営上の諸課題や広く知らしめる事項等を、税務執行当局の担当者から直接受講できる機会を提供し、税知識の普及と税務行政への協力を行う税務講演会・研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署長もしくは昭和税務署の担当官ほか

開催予定時期：税務署長講演会は令和5年11月

(8) 税務・経営セミナー

年末調整など時宜を捉えた会社経営に密接に絡むテーマに関する研修会を、会員企業のほか一般参加者も募り、必要な知識の習得と普及に努めるためのセミナーを開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定しない。

講師：昭和税務署の担当官のほか、研修テーマに応じ専門的知識を有する税理士等

開催予定時期：年末調整等研修会は令和5年11月

(9) 青年部会及び女性部会税務研修会

当会の内部組織である青年部会及び女性部会が、税に関する知識を深めるために企画・運営し、当会で購入した税に関する冊子等を利用し、税に関する研修会を開催する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の役員や経理担当者等を対象。参加者は会員に限定

しない。

講師：昭和税務署の担当官のほか、研修テーマに応じ専門的知識を有する税理士等

2 納税意識の高揚を目的とする事業

(1) 「税を考える週間」の街頭広報

国税庁では、毎年11月11日から17日までの期間を「税を考える週間」と定め、国民に対して税に関する理解を一層深めるとともに、税の仕組みや税の使われ方やその必要性などについて主体的に考える契機として、全国的な税に関する広報活動を実施しており、当会も、これらの機会に税に関するパンフレット等の配布等税知識の普及活動を実施する。

(2) 所得税・消費税の確定申告期における広報車による街頭広報

毎年、2月～3月にかけて行われる所得税・消費税の確定申告期に合わせ、確定申告会場の周知、確定申告の早期提出、期限内申告及び期限内納税について広報車により昭和税務署管内一円（名古屋市内3区、日進市、長久手市、東郷町）において街頭広報を実施する。

(3) 地域イベントにおける租税教育活動

昭和税務署管内で開催される「区民まつり」「市民まつり」等の地域イベントに際して、ブースを設け次世代を担う子供たちを主な対象として、税に関するパネル展示と税に関するパンフレットの配布等を行う。

(4) 租税教育活動

次代を担う児童・生徒や地域住民等に対し、税の意義や役割、重要性について正しく理解してもらうために、租税教育活動を行う。

① 租税教室の実施

次代を担う児童・生徒に対し、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い方に関心を持つ等健全な納税者意識を養うことを目的として、昭和税務署管内の小・中学校に対し、昭和税務署と協議の上、税務署で研修を受けた租税教室の講師を小・中学校に派遣し、DVD等を使用し租税教室を実施する。

② 税の絵はがきコンクールの実施

税に関する絵はがきを書くことで、楽しみながら納税意識の高揚を図り、適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与するために実施する。

③ 租税教育用副教材の配付

小学校における租税教育の一助としてもらうため、その副教材及び文具を管内小学校に配付する。

④ 児童・生徒及び地域住民を対象とした租税教育活動

児童・生徒及び地域住民に、租税の重要性の理解を図るため、昭和税務署管内の公立図書館に税や経営等に関する図書を常置してもらい、その図書を利用してもらうこと等

により広く租税教育活動の推進を図る。

3 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

当会会員を中心にアンケート調査を行い、税制及び税務に関する提言を取りまとめ、一般社団法人愛知県法人会連合会を通じて公益財団法人全国法人会総連合に上申していく。

4 地域企業の健全な発展に資する事業

(1) 経済・経営講演会

地域経済の中核を担う地域企業の健全な発展を図るためには、常に国内外の経済情勢の動向に注意を怠らないうで、その変化に対応する適切な施策を検討することが肝要となる。当会では、主としてこのような地域企業の経営者等に対して経済・経営・時事問題の精通者を招き、経済・経営講演会の機会を提供する。

対象者：昭和税務署管内の法人企業を対象とし、会員に限定しない。

実施計画のある事業

- ① 総会記念講演会
- ② 女性部会主催講演会
- ③ 名古屋市内法人会との合同講演会

(2) 地域企業向け実務研修会

地域企業の役員や従業員を主な対象として、簿記講習会等の実務研修会を行う。

対象者：昭和税務署管内の法人企業の従業員等を対象とし、会員に限定しない。

実施計画のある事業

- 第42回初級簿記講習会

(3) 企業施設見学会

地域企業が、自らの企業経営に有益な企業やその工場又は施設を見学する場を提供することで、地域企業の健全な発展、ひいては地域経済の活性化に資することを目的として企業施設見学会を行う。

対象者：昭和税務署管内の法人企業を対象とし、会員に限定しない。

(4) インターネットを利用した情報提供

セミナーオンデマンドのコンテンツを配信する業者と契約し、当会ホームページを通じて会員向けに、各種講演会や研修講座の無料配信サービスを行う。

5 地域社会への貢献を目的とする事業

(1) 健康、文化及び芸術等に関する講演会及び研修会

当会会員を含む地域企業や地域住民を対象として、健康、文化や芸術等に関する講演会や研修会を企画・運営し、講演や研修の機会を提供することを通じて、地域社会への貢献

を目的とする。

対象者：昭和税務署管内の地域住民

実施計画のある事業

- ① 市内ブロック合同研修・講演会
- ② 愛知ブロック研修・講演会
- ③ 女性部会主催講演会

(2) 文化・芸術等に関する鑑賞会

当会会員を含む地域企業や地域住民を対象として、音楽鑑賞会、狂言鑑賞会などの文化・芸術等に関する鑑賞会を企画・運営し、鑑賞の機会を提供することを通じて、地域社会への貢献を目的とする。

対象者：昭和税務署管内の地域住民

実施計画のある事業

- ① 支部合同狂言鑑賞会
- ② 女性部会主催演奏会

6 会員の福利厚生に資する事業

(1) 保険事業

団体加入による優遇制度を利用した当会会員企業・経営者等への経営者大型総合保障制度やガン保険制度への加入を推進している。

保険事業は、公益財団法人全国法人会総連合、一般社団法人愛知県法人会連合会が提供している保険会社と連携し行う。

協力関係にある保険会社等

- ① 大同生命保険（経営者大型総合保障制度）
- ② A I G 損害保険（経営者大型総合保障制度、総合事業者保険等）
- ③ アフラック生命（ガン保険、WAYS、EVER等）
- ④ 三井住友海上火災保険（貸倒保証制度）
- ⑤ 愛知県中小企業共済（生命傷害共済、経営者医療共済等）

(2) 健康増進事業

当会会員企業の役員及び従業員等の健康増進・保守を目的として、人間ドック・生活習慣病予防検診等の斡旋を行う。

協力関係にある検査機関等

- ① 一般財団法人愛知健康増進財団
- ② 名古屋臨床検査センター
- ③ 一般財団法人全日本労働福祉協会東海支部

(3) 広告事業

当会が発行している広報誌に、会員企業の紹介及び福利厚生制度の案内や周知を目的として、会員企業・保険会社からの広告掲載を行う。

(4) 法人会加入のスケールメリットを生かした事業

- ① 会員企業の余暇支援として福利厚生制度のサポート
- ② 高速料金の割引制度としてETC利用の最適化支援サービス
- ③ 取引先・調達先の企業信用情報調査としての企業情報・格付情報照会サービス

7 会員の交流に資するための事業

会員支援のための親睦交流を目的に、次のような事業を行う。

- ① 役員研修会
- ② 日帰り研修・見学会
- ③ 役員懇親会・懇談会
- ④ ボウリング大会
- ⑤ 見学鑑賞会

報告事項（3）令和5年度収支予算

収支予算書

（損益計算ベース）

（自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）基本財産運用益	221	221	
基本財産受取利息	221	221	
特定資産運用益	69	77	
特定資産受取利息	69	77	
受取会費	28,275,000	29,775,000	
正会員受取会費	28,000,000	29,500,000	
賛助会員受取会費	275,000	275,000	
事業収益	7,120,500	6,254,500	
研修事業収益	547,500	817,500	講演会参加料、簿記教室テキスト代
広告事業収益	690,000	600,000	広報誌広告掲載料
福利厚生事業収益	1,538,000	445,000	健診委託手数料
会員親睦事業収益	4,100,000	4,100,000	会員交流参加費
簡易保険取扱事業収益	245,000	292,000	簡易保険受取手数料47千円減
受取補助金等	19,725,300	20,392,900	前年対比667千円減
受取全法連助成金	18,160,300	18,814,900	
受取全法連補助金	350,000	350,000	
受取県連補助金	1,215,000	1,228,000	
受取負担金	1,500,000	1,500,000	
受取部会負担金	1,500,000	1,500,000	部会年会費
雑収益	610,120	1,087,583	
受取利息	120	183	
雑収益	610,000	1,087,400	折込料等
経常収益計	57,231,210	59,010,281	前年対比1,779千円減
（2）経常費用			
事業費	46,675,310	47,161,981	前年対比486千円減
役員報酬	4,596,000	4,506,000	常勤役員分
給料手当	10,417,600	9,913,200	事務局職員分
退職給付費用	38,010	0	常勤役員分
中退共済掛金	321,720	540,720	
福利厚生費	2,548,482	2,489,565	
会議費	6,066,137	7,735,172	総会及び研修見学会費用等
旅費交通費	2,583,974	2,934,849	全法連行事参加費、支部研修見学会等
通信運搬費	2,162,706	2,009,523	催事案内等
消耗品費	1,530,474	1,598,670	税の啓発活動景品等費用
印刷製本費	5,233,640	4,615,281	広報誌発行費用
光熱水料費	335,508	253,087	
賃借料	2,298,000	2,253,000	事務所賃借料
保険料	10,000	10,000	
諸謝金	3,327,000	3,344,000	研修会、講演会等講師料
租税公課	71,200	0	R5.10課税事業者登録 未払消費税
支払負担金	446,000	446,000	県連、税連協負担金
委託費	477,270	455,300	
会場費	2,405,000	2,243,000	研修会、講演会等会場費用
広告宣伝費	58,740	48,600	
表彰費	130,000	140,000	会員増強褒賞金
リース料	712,977	699,016	コピー機・電話等リース料
支払手数料	721,141	747,345	振替・振込手数料等
新聞図書費	38,453	34,870	
雑費	145,278	144,783	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	備 考
管理費	10,423,392	11,677,431	前年対比1,254千円減
役員報酬	1,404,000	1,494,000	常勤役員分
給料手当	3,182,400	3,286,800	事務局職員分
退職給付費用	11,612	0	常勤役員分
中退共済掛金	98,280	179,280	
福利厚生費	778,518	825,435	
会議費	1,616,463	1,518,428	総会及び本会・支部・部会会議費用
旅費交通費	213,026	154,151	
通信運搬費	400,294	639,477	
消耗品費	170,026	185,330	
印刷製本費	761,360	1,488,719	広報誌、封筒、コピー費用等
光熱水道費	102,492	83,913	
賃借料	702,000	747,000	事務所賃借料
支払負担金	198,400	217,400	県連会費等
支払寄付金	33,000	33,000	
委託費	56,730	77,700	
広告宣伝費	1,260	11,400	
渉外慶弔費	70,000	90,000	慶弔費等
表彰費	50,000	30,000	
リース料	217,803	231,764	コピー、電話機等リース料
支払手数料	336,259	363,855	振替・振込手数料等
新聞図書費	11,747	11,562	
雑費	7,722	8,217	
経常費用計	57,098,702	58,839,412	前年対比1,740千円減
評価損益等調整前当期経常増減額	132,508	170,869	
評価損益等計	0	0	
当期経常増減額	132,508	170,869	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
他会計振替額	0	0	
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	61,508	99,869	
一般正味財産期首残高	53,423,239	53,423,239	前年度期末残高
一般正味財産期末残高	53,484,747	53,523,108	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	
受取全法連助成金	18,160,300	18,814,900	
一般正味財産への振替額	-18,160,300	-18,814,900	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	53,484,747	53,523,108	

令和5年度 収支予算内訳表

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位：円)

内 訳		公益 1	公益 2	公益共通	小 計	収 1	他 1	小 計	法人会計	計
科 目	内 容									
経 常 収 入	利息	0	0	0	0	0	0	0	221	221
	利息	0	0	0	0	0	0	0	69	69
	利息	0	0	11,200,000	11,200,000	0	7,000,000	7,000,000	9,800,000	28,000,000
	利息	0	0	110,000	110,000	0	68,750	68,750	96,250	275,000
	利息	115,000	432,500	0	547,500	0	0	0	0	547,500
	利息	0	0	0	0	690,000	0	690,000	0	690,000
	利息	0	0	0	0	1,538,000	0	1,538,000	0	1,538,000
	利息	0	0	0	0	0	4,100,000	4,100,000	0	4,100,000
	利息	0	0	0	0	245,000	0	245,000	0	245,000
	利息	0	0	18,160,300	18,160,300	0	0	0	0	18,160,300
	利息	0	0	0	0	0	0	0	350,000	350,000
	利息	0	0	0	0	0	1,215,000	1,215,000	0	1,215,000
	利息	0	0	0	0	0	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000
利息	0	0	0	0	0	0	0	120	120	
利息	0	0	0	0	0	550,000	550,000	60,000	610,000	
計		115,000	432,500	29,470,300	30,017,800	2,473,000	14,433,750	16,906,750	10,306,660	57,231,210
事 業 費	役員報酬	2,664,000	1,092,000	0	3,756,000	240,000	600,000	840,000	0	4,596,000
	職員給付	6,038,400	2,475,200	0	8,513,600	544,000	1,360,000	1,904,000	0	10,417,600
	退職給付	22,032	9,031	0	31,063	1,985	4,962	6,947	0	38,010
	福利厚生	186,480	76,440	0	262,920	16,800	42,000	58,800	0	321,720
	会議費	1,477,188	605,514	0	2,082,702	133,080	332,700	465,780	0	2,548,482
	旅費	274,138	51,234	0	325,372	2,575	5,738,190	5,740,765	0	6,066,137
	通信費	936,716	756,798	0	1,693,514	35,560	854,900	890,460	0	2,583,974
	消耗品	985,916	666,346	0	1,652,262	93,088	417,356	510,444	0	2,162,706
	印刷製本	1,224,716	38,298	0	1,263,014	35,560	231,900	267,460	0	1,530,474
	光熱水料	3,483,920	723,400	0	4,207,320	452,240	574,080	1,026,320	0	5,233,640
	賃借料	194,472	79,716	0	274,188	17,520	43,800	61,320	0	335,508
	保険料	1,332,000	546,000	0	1,878,000	120,000	300,000	420,000	0	2,298,000
	諸謝金	215,000	3,112,000	0	3,327,000	0	10,000	10,000	0	3,327,000
	租税公課	0	0	0	0	24,700	46,500	71,200	0	71,200
	支払手数料	446,000	0	0	446,000	0	0	0	0	446,000
	委託費	133,340	230,660	0	364,000	14,690	98,580	113,270	0	477,270
	会場宣伝	424,000	1,695,000	0	2,119,000	0	286,000	286,000	0	2,405,000
	広告	43,080	4,920	0	48,000	6,780	3,960	10,740	0	58,740
	表紙	10,000	0	0	10,000	0	120,000	120,000	0	130,000
	リ手数	413,266	169,402	0	582,668	37,231	93,078	130,309	0	712,977
	支新聞	323,054	133,423	0	456,477	138,904	125,760	264,664	0	721,141
	支新聞	22,289	9,136	0	31,425	2,008	5,020	7,028	0	38,453
	支新聞	48,652	45,006	0	93,658	1,320	50,300	51,620	0	145,278
計		20,898,659	12,519,524	0	33,418,183	1,918,041	11,339,086	13,257,127	0	46,675,310
管 理 費	役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	1,404,000	1,404,000
	職員給付	0	0	0	0	0	0	0	3,182,400	3,182,400
	退職給付	0	0	0	0	0	0	0	11,612	11,612
	福利厚生	0	0	0	0	0	0	0	98,280	98,280
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	778,518	778,518
	旅費	0	0	0	0	0	0	0	1,616,463	1,616,463
	通信費	0	0	0	0	0	0	0	213,026	213,026
	消耗品	0	0	0	0	0	0	0	400,294	400,294
	印刷製本	0	0	0	0	0	0	0	170,026	170,026
	光熱水料	0	0	0	0	0	0	0	761,360	761,360
	賃借料	0	0	0	0	0	0	0	102,492	102,492
	支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	702,000	702,000
	支委託	0	0	0	0	0	0	0	198,400	198,400
支委託	0	0	0	0	0	0	0	33,000	33,000	
支委託	0	0	0	0	0	0	0	56,730	56,730	
支委託	0	0	0	0	0	0	0	1,260	1,260	
支委託	0	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000	
支委託	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000	
支新聞	0	0	0	0	0	0	0	217,803	217,803	
支新聞	0	0	0	0	0	0	0	336,259	336,259	
支新聞	0	0	0	0	0	0	0	11,747	11,747	
支新聞	0	0	0	0	0	0	0	7,722	7,722	
計		0	0	0	0	0	0	0	10,423,392	10,423,392
経常費用計		20,898,659	12,519,524	0	33,418,183	1,918,041	11,339,086	13,257,127	10,423,392	57,098,702
当期経常増減額		-20,783,659	-12,087,024	29,470,300	-3,400,383	554,959	3,094,664	3,649,623	-116,732	132,508
他会計振替額				344,541	344,541	-63,314	-281,227	-344,541		0
法人税、住民税及び事業税						71,000	71,000	71,000		71,000
当期一般正味財産増減額		-20,783,659	-12,087,024	29,814,841	-3,055,842	420,645	2,813,437	3,234,082	-116,732	61,508
一般正味財産期首残高										53,423,239
一般正味財産期末残高										53,484,747
当期指定正味財産増減額										0
受取全法連助成金				18,160,300	18,160,300					18,160,300
一般正味財産への振替額				-18,160,300	-18,160,300					-18,160,300
指定正味財産期首残高										0
指定正味財産期末残高										0
正味財産期末残高										53,484,747

法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして

企業の発展を支援し

地域の振興に寄与し

国と社会の繁栄に貢献する

経営者の団体である